



大崎市議会議員

ゆうびん

さとう仁一 友便

後援会だより

平成27年1月号

地域に寄り添う、人と人を結ぶ

皆様の声を市政につなげます。ご意見などお気軽にお聞かせください。

さとう仁一 連合後援会

〒989-6442 宮城県大崎市岩出山下金沢154-1 TEL:0229-72-4560 携帯:080-1855-3888
✉ jinichi422@yahoo.co.jp URL http://jinichi-sato.jimdo.com/

■大崎市内小学校地域別 児童数の推移

各年度5月1日現在大崎市教育委員会調べ 単位:人

	昭和45年度	平成元年度	平成17年度	平成26年度	平成31年度
古川ナンバーズクール小学校 (敷玉小含む)	3,117	3,795	3,578	3,810	3,850
古川西部地域小学校	1,109	810	410	331	290
古川北部地域小学校	1,118	984	602	482	388
松山地域小学校	783	662	413	304	238
三本木地域小学校	632	767	428	487	406
鹿島台地域小学校	1,143	1,313	722	575	477
岩出山地域小学校	1,990	1,449	601	493	403
鳴子温泉地域小学校	1,576	841	377	228	194
田尻地域小学校	1,629	1,400	679	548	501
計	13,157	12,021	7,810	7,249	6,747

●昭和45年度から平成26年度まで大崎市内における小学校の地域別推移を表したものです。
●昭和45年度と平成26年度の児童数を比較した場合、55%の児童数割合となっています。

大崎市における人口減少はそのまま少子社会を生み、学校運営に影響を与えております。中でも、小学校での集団生活の欠如、多様な教育機会の喪失など、教育環境は大きく変わろうとしています。一方、国では三十人学級から四十人学級に戻すよう、財政制度等審議会から求められました。

国際的に見ても、OECD(経済協力開発機構)加盟中、国の国内総生産に占める公的教育費の割合は最低であります。ゆえに、進展する社会の求める人間教育のために、教育予算の増額を行い、児童・教師個人に主体性を置いた学校教育環境を充実すべきと私は考えます。

話題を追って

■大崎市小学校等再編調査検討概要

地区名	小学校名(児童数)	新生校シミュレーション
松山	松山小(278)	H28年4月 新生:松山小学校開校
	下伊場野小★(26)	
鹿島台	鹿島台小(535)	H28年4月 新生:鹿島台小学校開校
	鹿島台第二小★(40)	
岩出山	岩出山小(296)	平成29年4月 新生:岩出山小学校 開校
	西大崎小★(47)	
	上野目小★(53)	
	池月小★(50)	
	真山小★(47)	
古川西部	志田小(57)	H30年4月 仮称:古川西小学校 開校
	西古川小(109)	
	東大崎小(111)	
	高倉小(54)	
鳴子温泉	鳴子小(91)	H3年4月 仮称:鳴子温泉小学校 開校
	川渡小(115)	
	鬼首小★(22)	
古川北部	富沢小(101)	H33年度以降 長岡小に再編 ※幼稚園再編も含めて
	長岡小(166)	
	富永小(163)	
	清滝小(52)	
田尻	田尻小(165)	H33年度以降 沼部小に再編 ※幼稚園再編も含めて
	沼部小(262)	
	大貫小(119)	

※★マーク:既に複式学級が始まっている小学校

※児童数の現状、現在の学校施設規模から教室増加数に配慮する工事建設の有無、教育活動・教育内容の整合性等を含めて、平成26年度を基準とした場合、これから各地域における教育環境を実務的に整備することが可能な時期についてのシミュレーションをしたものです。このシミュレーションをもとにして、保護者・地域の皆さまとの懇談を通して調査検討をまいります。

の拠点である公民館施設と連携しており、跡地活用の問題もあり、市当局は、計画情報の公開をすすめ、地域への相談を早い段階から進めるべきと、私は考えております。是非皆様のご意見をお聞かせください。



■岩出山地域における二回の懇談会への参加者数

地区	PTA(7月)	地域(11~12月)
池月	20人	12人
上野目	8人	17人
岩出山	4人	23人
西大崎	11人	10人
真山	13人	27人

大崎市教育委員会では、複式学級の解消と学校規模の適正化を図るため、小学校の再編について、大崎市学校教育環境整備指針に基づき、二六年度の懇談会が実施されております。

地域学校の性格が強い小学校の再編は、廃校・統合を模索し、新生校へと発展するものです。地域活動

